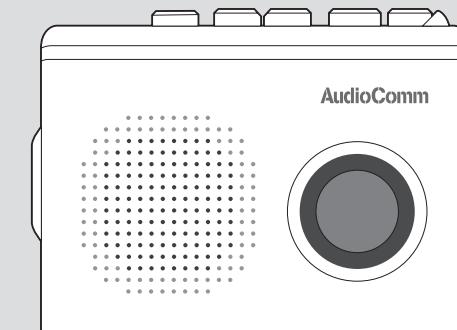




録音／再生カセットレコーダー

保証書付 取扱説明書

型番: CAS-610Z 品番: 07-8868



このたびは、AudioComm® 録音／再生カセットレコーダーを
お買い上げいただき
まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書 持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) 買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塗装、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
- (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

| | | | | |
|---------------------|----------------|-----|---------|-----------------------|
| 商品名 | 録音／再生カセットレコーダー | | | ★お買い上げ日： 年 月 日 |
| 型 番 | CAS-610Z | 品 番 | 07-8868 | 保証期間：本体1年間(お買い上げの日から) |
| お客様 ふりがな ★お名前 | | | | 様 |
| ★ご住所 | | | | 電話 () |
| 修理メモ | | | | |
| ★住所 店名 電話 | | | | |
| 販売店 | (印) | | | |

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にて記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきますので、ご了承ください。

◎OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話 受付
※土曜・平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話 048-992-3970 平日 9:00~17:00
受付
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8868A

目次

| | | | |
|--------------|-----|------------------|----|
| 免責事項 | 1 | カセットテープに録音する | 8 |
| 安全上のご注意 | 1～3 | イヤホンで聴くときは | 9 |
| 各部の名称 | 4 | お手入れのしかた | 9 |
| 乾電池の入れかた | 5 | 故障かなと思ったら | 10 |
| 外部電源で使用するときは | 5 | 主な仕様 | 11 |
| カセットテープについて | 6 | 保証書とアフターサービスについて | 11 |
| カセットテープを再生する | 7 | | |

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告

| | | |
|--|---|---|
| | <p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに停止ボタンを2回押して電源を切る。 AC電源を使用しているときはACアダプターをコンセントから抜く。乾電池で使用しているときは乾電池を取り外す ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。</p> | <p>分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。</p> |
| | <p>万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。</p> | <p>本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない ●感電や故障の原因となります。</p> |
| | <p>雷が鳴りだしたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない ●感電の原因になります。</p> | <p>本機やACアダプターの上に重いものを載せたり、ACアダプターのコードの上に本機を載せない ●本機が破損したり、コードに傷がついて火災・感電の原因となります。</p> |
| | <p>ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかにACアダプターをコンセントから抜く ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。</p> | <p>本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。</p> |
| | <p>乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。</p> | <p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、新聞紙やテープルクロス、カーテンなどを本機にかけて覆わない ●火災の原因となります。</p> |
| | <p>ACアダプターは、必ず本機の仕様に適合した製品を使う。海外でACアダプターを使わない。また、自動車・船舶などの直流DC電源に接続しない ●破損や火傷、発煙、火災の原因となります。</p> | <p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。</p> |
| | | <p>車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。</p> |
| | | <p>海外では使用しない ●本機は日本国内でのみ使用可能です。</p> |

注意

| | | | |
|--|---|--|---|
| | <p>ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない ●落下による故障やけがの原因となることがあります。</p> | | <p>落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない ●故障や破損の原因になることがあります。</p> |
|--|---|--|---|

⚠ 注意



窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●本体に悪い影響を与える故障の原因となることがあります。



電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。



長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。ACアダプター接続時はACアダプターも取り外す
●火災・液もれの原因となることがあります。



乾電池を挿入するときは極性表示(プラス+とマイナス-)の向きに注意し、表示どおり正しく入れる
●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する

●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

ほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。ほこりがつないように、カセットテープを出し入れするとき以外は必ずカセットドアを閉じてください。

指定以外の乾電池は使用しない。古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池と一緒に使わない
●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない
●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。

長時間、大音量で聴き続けない
●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

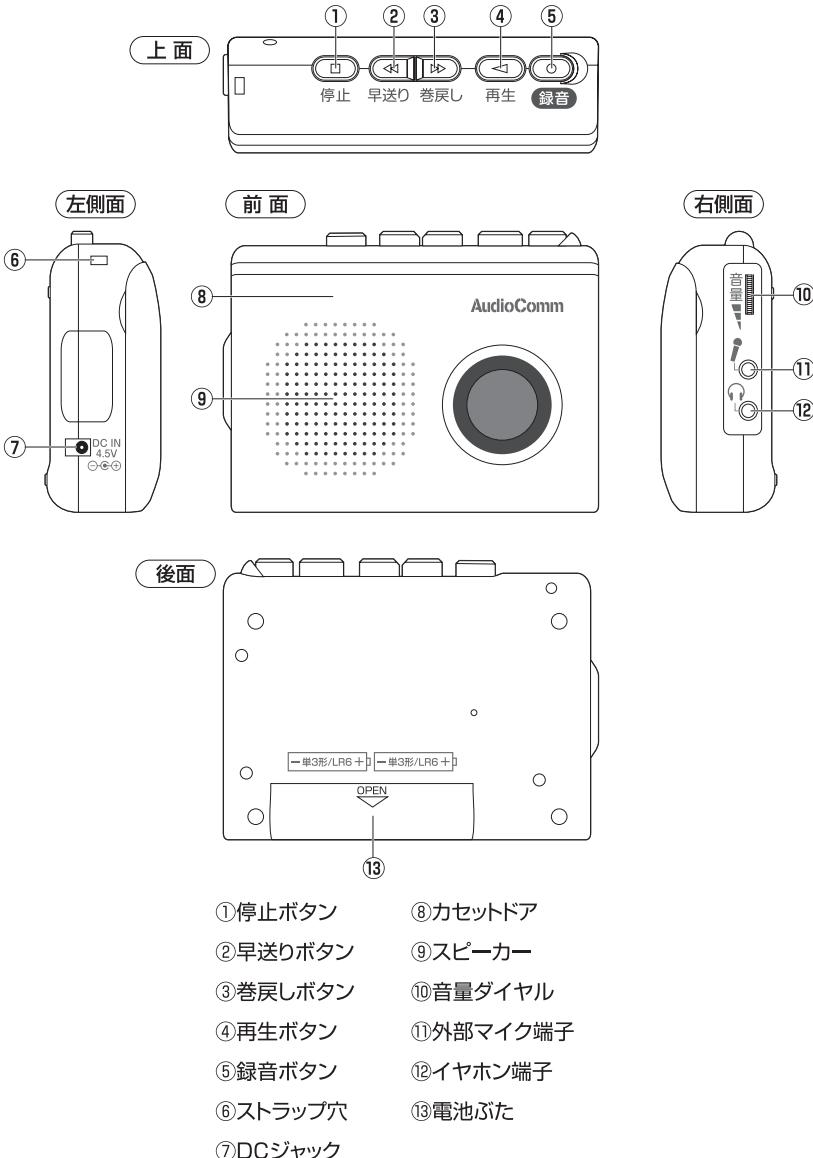


- ・火中の投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



- ・+の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

各部の名称



①停止ボタン

⑧カセットドア

②早送りボタン

⑨スピーカー

③巻戻しボタン

⑩音量ダイヤル

④再生ボタン

⑪外部マイク端子

⑤録音ボタン

⑫イヤホン端子

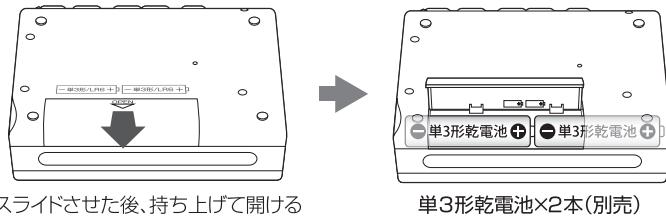
⑥ストラップ穴

⑬電池ぶた

⑦DCジャック

乾電池の入れかた

- 1 本機裏側の電池ぶたを矢印の方向にスライドさせた後、持ち上げて開けます(下図参照)。
- 2 本体記載の図柄を参照し、単3形乾電池2本(別売)を \oplus/\ominus の向きに注意しながら正しく入れます。コイルばねのあるほうがマイナス(\ominus)です。2本目を入れるときはマイナス側から先に入れてください。
- 3 乾電池を入れ終えたら、電池ぶたを元どおりにしっかりと閉めてください。



スライドさせた後、持ち上げて開ける

単3形乾電池×2本(別売)

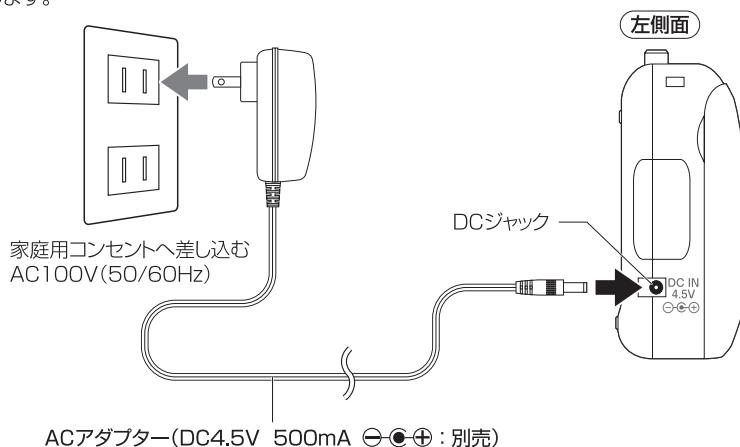
ヒント

乾電池交換の目安：乾電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

外部電源で使用するときは

ACアダプター(DC4.5V 500mA $\ominus/\bullet/\oplus$: 別売)を、本機左側面のDCジャックと家庭用コンセントに接続します。

DCジャックに接続すると、乾電池が入っている場合でもACアダプターからの電源供給に切り替わります。



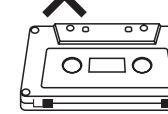
カセットテープについて

本機で使用できるカセットテープ

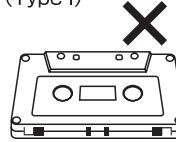
- ノーマルテープ(Type I)をお使いください。ハイポジションテープ(Type II)やメタルテープ(Type IV)には録音できません。また、ノーマルテープについてもC-60(60分テープ)までのテープを使用してください。C-60(60分テープ)を超える長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれるなどのトラブルの原因になりますので、使用しないでください。
- エンドレステープは使用できません。



ノーマルテープ(Type I)



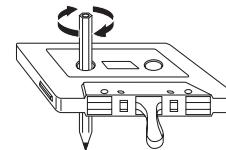
ハイポジションテープ
(Type II)



メタルテープ
(Type IV)

取扱上の注意点

- テープのたるみは、テープの巻きつきや切断の原因になります。
- テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。



- 使い終わったら必ず本機からカセットテープを取り出して保管してください。テープが回転部分に密着したままになり、からみつきや巻きつきの原因となります。

- テープ動作中の巻戻し・早送り操作は、テープ巻きつきの原因となることがあります。必ず停止させてから巻戻し・早送りの操作を行なってください。

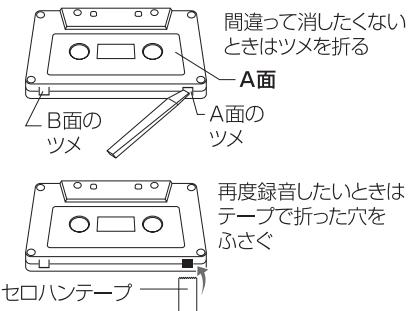
- テープの損傷を避けるため、大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。

録音時の注意点

- ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合もありますのでご注意ください。
- カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分は録音ができません。録音前にこの部分を送っておきましょう。

大切な録音を消さないために

保存しておきたいテープの場合、カセットのうしろ側にある「ツメ」を折ておくと、間違って大切な録音を消去せずにすみます。再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。



間違って消したくないときはツメを折る

A面
B面のツメ

A面のツメ

再度録音したいときは
テープで折った穴を
ふさぐ

セロハンテープ

カセットテープを再生する

カセットテープの入れかた

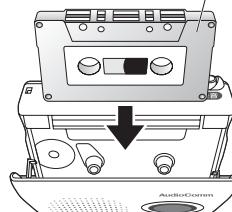
① カセットドアを手で開けます。

② 再生面を上(カセットドア側)に、テープの見える面を手前(ボタン側)にしてセットします。

③ カセットドアを手で閉めます。

ご注意 カセットドアを開けるときは、必ず停止状態で行なってください。

再生面を手前(カセットドア側)に、テープの見える面を上(ボタン側)にしてセット



再生時のボタン操作

※本機での再生／録音はモノラルです
再生するときは事前に音量ダイヤルで音量を絞ってから操作してください。突然大きな音が出て聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。

上面



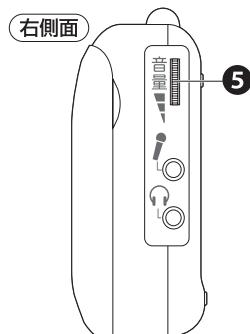
①停止ボタン…各動作を停止します。

②早送りボタン…押し込むとテープを早送ります。

③巻戻しボタン…押し込むとテープを巻戻します。

④再生ボタン…押し込むとテープの再生を開始します。

⑤音量ダイヤル…再生前は音量を絞り、再生開始後に適正な音量に調節してください。



ご注意 ●再生・早送り・巻戻し・録音の各操作を止めるときは、必ず停止ボタンで操作してください。各動作中に停止ボタン以外のボタンを操作すると、故障の原因となることがあります。

●セミオートストップ機能について 再生／録音時にテープが最後まで行くと、自動的に操作ボタンが上がり動作を終了します。ただし、早送り／巻戻しでは自動的に動作を終了しません。故障の原因となることがありますので、早送り／巻戻し時は、必ず停止ボタンで動作を終了させてください。

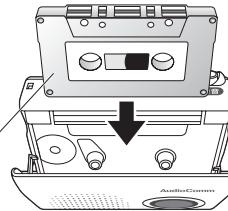
カセットテープに録音する

録音前の準備

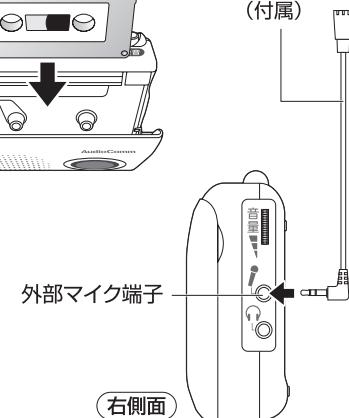
① カセットテープを入れます。

※カセットテープ両端のリード部分(透明部)は録音されません。あらかじめ送っておいてください。

録音する面を手前(カセットドア側)に、テープの見える面を上(ボタン側)にしてセット



専用外部マイク
(付属)



外部マイク端子

右側面

② 外部マイク端子に専用外部マイク(付属)のプラグ(Φ3.5mmミニプラグ)を接続し、音源に向けてセッティングしてください。

ご注意 ●録音音声はモノラルです。

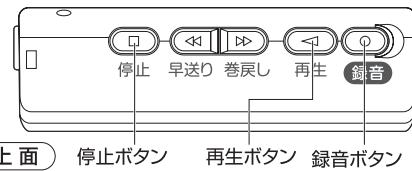
●専用外部マイクは強い力を加えたり、折り曲げたりしないでください。破損するおそれがあります。

●録音時は専用外部マイクができるだけ音源に近づけてください。事前に試し録りをすることをおすすめします。

録音の操作

① 録音ボタンと再生ボタンを同時に押すと、録音が始まります。

② 録音を終えるときは停止ボタンを押します。



ヒント

●録音レベルは固定されていますので、音量ダイヤルを操作しても影響はありません。

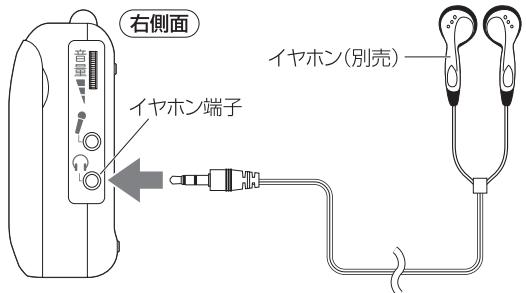
●大切な録音をするときは事前に試し録音をして、適正に録音されるかテストすることをおすすめします。

●テープの録音を消去するには：録音されたテープの上から新たな録音をすると、上書きにより前の録音は消去されます。

イヤホン(別売)で聴くときは

イヤホンのプラグ(Φ3.5mmミニプラグ)を、上面のイヤホン端子に接続します。接続するとスピーカーからの音は出力されなくなります。

*モノラルタイプのプラグはご使用になれません。ステレオタイプのプラグをご使用ください。



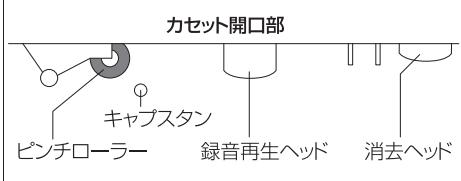
お手入れのしかた

ヘッド部の清掃について

ヘッドやキャブスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着して汚れていきます。汚れかひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残るなどの症状が出ます。定期的にヘッド部を清掃してください。

ヘッド部の清掃方法

カセットドアを開け、別売のクリーニングキットでヘッドやピンチローラー、キャブスタンなどの汚れを拭き取ります。なお、内部についたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。



ヒントとご注意

- ヘッドの消磁を行うには市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。
- 本機の消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

キャビネットの清掃

●キャビネットや操作ボタンなどが汚れたたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールなどは
使用しない

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

| 症 状 | チェック項目 |
|-----------------------------------|---|
| 動作しない | <ul style="list-style-type: none">●乾電池が正しく入っていますか。●乾電池が消耗していませんか。●(ACアダプター使用時) ACアダプターが外れて(ゆるんで)いませんか。 |
| 音が出ない | <ul style="list-style-type: none">●音量が最小になってしまですか。●イヤホン端子にイヤホンが差し込まれていませんか。 |
| カセットドアが閉まらない | <ul style="list-style-type: none">●カセットが逆向きではありませんか。 |
| テープ走行が不安定 テープが走行しない | <ul style="list-style-type: none">●テープがたるんでいませんか。●乾電池が消耗していませんか。 |
| テープが機械に巻きつく | <ul style="list-style-type: none">●ピンチローラーやキャブスタンが汚れていませんか。●テープがたるんでいませんか。●カセットドアがきちんと閉まっていますか。●C-60を超える長時間テープを使っていませんか。 |
| 録音ボタンが押せない | <ul style="list-style-type: none">●録音しようとするカセットの誤消去防止用のツメが折れていませんか。●カセットドアがきちんと閉まっていますか。●カセットが入っていますか。 |
| 前の録音を完全に消去できない 録音した音がひずむ | <ul style="list-style-type: none">●ハイポジション(TypeII)やメタルポジションテープ(TypeIV)を使っていますか。●消去ヘッドが汚れていませんか。 |
| 雑音がひどい、音が震える 音飛びがする、 高音が出ない | <ul style="list-style-type: none">●ヘッドやピンチローラー、キャブスタンが汚れていませんか。●テープがたるんでいませんか。●乾電池が消耗していませんか。 |
| テープへの録音ができない | <ul style="list-style-type: none">●ヘッドが汚れていませんか。●録音防止用のツメが折れていませんか。 |
| 録音した音が小さい | <ul style="list-style-type: none">●音源と外部マイクが離れていませんか。自分の声を録音するときは外部マイクに向かって話してください。 |

主な仕様

| | |
|------------------|---|
| 電源 | DC 3V 単3形乾電池×2本(別売) 外部電源 DC4.5V 500mA Φ●+ (ACアダプター/別売) |
| 実用最大出力 | 200mW |
| イヤホン端子 | Φ3.5mmモノラル出力 ※1 |
| 外部マイク端子 | Φ3.5mmマイク端子(モノラル入力) |
| スピーカー | 口径4.5cm×1 |
| 乾電池での連続使用時間の目安※2 | 再生時: 約8時間(スピーカー使用時) 約10時間(イヤホン使用時) 録音時: 約7時間 |
| 外形寸法 | 幅117×高さ88×奥行38mm |
| 質量 | 約155g(乾電池含まず) |
| 付属品 | 専用外部マイク、保証書付取扱説明書 |

※1 本機のイヤホン端子はモノラル出力ですが、イヤホンのプラグがモノラルタイプの場合、音が聴こえません。ステレオタイプのプラグをもつ両耳タイプのイヤホン(別売)をご使用ください。

※2 乾電池での連続使用時間は、アルカリ乾電池新品使用(音量: 中程度)の場合の目安です。乾電池の種類や使用状況によって異なります。

※本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※本取扱説明書で使用するイラストは、実際の機種と一部外観が異なっている場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。